主を求めて

80年代、ニティアンさん

ったんだろう」。

すしかなかった。

タミル人に生まれてしま ちを助け出した。

スリランカの内戦

る政府軍に攻撃された。 の町もLTTEと敵対す

が10代の頃だ。

殺りくが日常的だっ

な内戦に翻弄された。同と呼ばれたが、長く深刻

リランカ。「緑の楽園」

インド南東の島国、ス

でも、誰も助けに来てく かに助けてほしかった。 子供の頃、いつも誰

スメートが欠けていっ 学校では、毎日クラ AMDA30年

た。どこかに連れ去られ、 会社に勤務した後、 の大学に進学。大手石油

金を得てオーストラリア

ニティアンさんは奨学

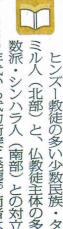
一度と戻ってこなかっ の機関などに務め、母国 の支援にかかわった。平

た。政府軍が急襲し、男

性ばかり屋外に集めて無 和構築事業のため現地入

りしたAMDAと出会っ

は、訳も分からないまま、 中で爆撃に遭ったとき 差別に殴ることもあっ た。登校中に市場の真ん タッフとしてAMDAを ・キリノッチで、現地ス たのは33年。北部の都市



ミル人(北部)と、仏教徒主体の多

が1980年代から武力衝突に発展。 両者は 数派・シンハラ人(南部)との対立

2002年に停戦したものの、06年ごろ再燃。

シンハラ側を代表する政府が停戦合意を破

プロジェクト」は、敵対 AMDAの 「医療和平 り、99年、LTTEを制圧した。死者は7万 要請を受け、現地入りした。 停戦を呼びかけ、AMDAは政府代表からの 八以上。日本政府はノルウェーなどとともに の再燃で06年に終了した AMDAの活動は内戦

等な医療を提供すること する。メインは11年から 継続中の「サッカー交 した。そして今、スリラ たちがサッカーを通して 流」。三つの地域の子供 ンカの復興支援を担当

と、健康に関する情報紙 で励和をはかる試みだ。 を発行。それぞれの地域 医療サービスがなじむ る。「スリランカのどの 触れ合う取り組みだ。二 ティアンさんはこうみ

地域に行っても、人は同

じ。経済、農業……みん す。そして、優しい人た な同じ問題を抱えていま

るよう探った。ニティア にする。こんな支援団体 ンさんにとって、その方 少しずつ互いを理解でき 法は新鮮だった。 「人と への心のつながりを大切 ちなのです」 AMDAは今月、設立

そ、誰かを助けたい」と の経験があったからこ 姿勢に共鳴した。「内戦 働いている。平和を願う 伊福町3)の職員として GO「AMDA」(北区 007年から国際医療N ーラバグさん(45)は、2 国出身のニティアン・ビ ンカ出身の ティア

TE)」が台頭し、故郷 ーラム解放のトラ(LT は武装勢力「タミル・イ ミル人。内戦で、北部に 北部に住む少数民族・タ ンさんは振り返る。国の れなかった」。ニティア

けがをして泣き叫ぶ人た

迎えた。

する北部、南部、東部の 3カ所に拠点を置き、平

が、ニティアンさんはA

MDAで働きたいと希望

話す。

L た 3 地域 活動



ネル

インド

バングラ デシュ

17

3月にマニラであった国際会議で、

ィアンさん。 現在はAMDA職員と

> メッセージを盛り込み、 のできごとや子供たちの

は初めてだ

の活動や、関わる人々を 30年を迎えた。 AMDA 紹介する。【五十嵐朋子】